



2014年12月14日 第9号



Holy Hope Project

竹下 力・静

〒272-0826 千葉県市川市真間 2-21-6

プレジール 102

TEL&FAX 047-322-2209 携帯 080-5460-1766

<http://www.holyhope.net/> E-mail: [takeshita@holyhope.net](mailto:takeshita@holyhope.net)

ご支援いただいている皆様方へ

主の御名を賛美いたします。いつも、私たち夫婦の活動のためにお祈りいただきまして、誠にありがとうございます。

今年一年、静は全国コンサートツアーを展開し、また韓国人アーティストたちの交流が広がり、韓国でのコンサートも行なうことができました。10月には声帯を痛め、ピンチな時期もありましたが、おかげさまで回復し、11/30のアドベント（待降節）第一週の加古川キリスト教会でのコンサートを皮切りに、クリスマスシーズンへと突入しました。お祈りに覚えていただけましたら幸いです。

私・力も、静に置いていかれないように（?）、各地にて伝道活動を展開させていただいております。このクリスマスの時期、初めて教会に来られる方にもわかりやすいように、福音メッセージを届けていきたいと思っております。

東北支援活動も継続しています。11月には南相馬、仙台の各教会へと訪問、石巻でのコンサートも実施しております。今後も、細くても長く、引き続き、支援していきたいと考えております。



11/22 シーサイド・バイブル・チャーチ(仙台)

## ■活動報告と予定

- 11月15日(土) 原町聖書教会(福島・南相馬) 静・クリスマスコンサート
- 11月16日(日) 原町聖書教会(福島・南相馬) 力・メッセージ/静・賛美
- 11月22日(日) シーサイド・バイブル・チャーチ(宮城・仙台) 力・説教/静・礼拝コンサート
- 11月30日(日) フリーメソジスト・加古川キリスト教会(兵庫・加古川) 力・説教/静・コンサート
- 12月7日(日) ミッション・エイド・クリスチャン・フェローシップ(東京・御茶ノ水) 静・賛美  
サンライズ杉戸教会(埼玉・杉戸) 静・クリスマスコンサート
- 12月10日(水) 八木山聖書バプテスト教会(宮城・仙台) ほっとクリスマス 静・コンサート
- 12月14日(日) 上釜会館・ベンソン師(宮城・石巻) Christmas Live in Kamikama 静・コンサート  
塩釜 BBC グレイス岩切エクレシア(宮城・塩釜)
- 12月20日(土) 武蔵野福音自由教会(東京・武蔵野) クリスマスコンサート 静・コンサート/力・説教
- 12月21日(日) 聖望キリスト教会(千葉・市川) クリスマス礼拝 力・説教  
京浜キリスト教会(神奈川・相模原) クリスマスコンサート 静・コンサート
- 12月23日(火) 気仙沼聖書バプテスト教会(宮城・気仙沼) 静・クリスマスコンサート/力・説教
- 12月24日(水) 福音宣教教会(愛知・名古屋) クリスマス 静・コンサート
- 12月28日(日) シャローム福音教会(神奈川・横浜) 力・説教  
愛と希望のチャリティ音楽会 2014 ファイナル(東京・世田谷) 静・出演

■各教会でご奉仕いたします！…地方の教会でも、まずはご相談ください。また、ご紹介いただけましたら幸いです。

働きながらの活動ですので、説教は無償でもお受けできます。牧師先生の休暇、出張、また特に無牧の教会、小さな伝道所などでもご活用ください。もし交通費程度ご負担いただければ幸いです。

静の賛美・コンサートについては、実費が発生してしまうため、無償での奉仕は難しいのですが、まずはご相談ください。来年も全国ツアーを展開します。説教&賛美での奉仕も、ぜひどうぞ！

## クリスマスと平和

竹下 力

ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。

主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。

旧約聖書 イザヤ 9:6 (救い主誕生の預言)

今年もクリスマスシーズンとなりました。1年を通じて、教会では一番忙しい時期となりますが、皆様はどのようなクリスマスをお迎えになられることでしょうか。

新約聖書において、クリスマス、イエス・キリストの誕生の記事は、マタイの福音書と、ルカの福音書に出てきますが、その両者とも、時の権力者を意識している点は興味深いところです。

マタイは「ユダヤ人の王としてお生まれになった方」(マタイ 2:2)と意識し、ルカではローマ帝国を意識しながら、「この方こそ主キリストです。」(ルカ 2:11)と宣言されます。つまり、イエス・キリストの誕生は、当時のユダヤの王や、ローマの皇帝に代わる存在の誕生として描かれているのです。

ところが、イエス・キリストの生涯を見ると、この世的な政治活動をしたようにはみえません。宗教政治家や権力者たちから危険視され、ついには十字架刑に処せられた、見方を変えれば敗北者です。

しかし、神の赦しと愛を語り、当時「罪人」と呼ばれた友なき者の友となり、虐げられていた病人や貧しい者に寄り添い、民のために王自らの命を差し出す…。

これが聖書の語る真の王の姿。その生き様が、どれだけ人々の心を打ってきたことでしょうか。その愛と赦しによって平和を実現させていくのが「平和の君」のやり方とも言えます。

**主は国々の間をさばき、多くの国々の民に、判決を下す。彼らはその剣を鋤に、その槍をかまに打ち直し、国は国に向かって剣を上げず、二度と戦いのことを習わない。イザヤ 2:4**

これもメシア(救い主)の預言の一部です。

クリスチャンの多い国であっても、必ずしも、この「平和の君」のやり方に追従してきたとは言いがたいことでしょう。誰も平和を願い、真の平和のためには、武器を捨てることとはわかりながらも、捨てることはできずにいます。相手には求めても、自らが捨てることは容易なことではありません。理想といえば理想。真に実現するのは、キリストが再び来られる日と言えるのかもしれませんが。

しかしながら、奇しくも、クリスチャン人口1%である日本では、敗戦を機に、「戦争の放棄」、世界平和の理想と言える憲法9条が制定されました。アメリカGHQによって作られたというような批判の声もありますが、しかし戦後69年間、この平和憲法を守り、軍隊なしで来たのは、決してアメリカではなく、紛れもなく日本なのです。

残念ながら、今日、集団的自衛権の容認、さらには憲法改正、自衛隊から国防軍の結成を目指す動きもあります。自衛権や国防上の問題は、それぞれに意見、考え方もあることでしょう。しかし、ひとたび権力者が武力、軍事力を握ってしまえば、それを捨てることは、決して容易ではありません。

有名なクリスマスの賛美歌「諸人こぞりて」の一節にも、「平和の君なる御子をむかえ」と出てきますが、この「平和の君」を王とするのがクリスチャンであるとするならば、この世の政治が理想通りとはいかずとも、愛と赦しの福音をもって平和の実現を目指していきたいものです。

来年は戦後70年の節目を迎えます。真の平和を祈り求めるクリスマスでありたいですね。